



TOYODA GOSEI

2022年2月4日

豊田合成、新漆黒めっきを開発

～スポーティーな車のデザインを支える加飾技術～

豊田合成株式会社(本社:愛知県清須市、社長:小山享)は、「光輝感」と「深みのある黒色」を両立させ、スポーティーなデザインを表現する新しいめっき技術(新漆黒めっき)を開発しました。加飾バリエーションの拡充により、お客さまの多様なデザインニーズに対応します。

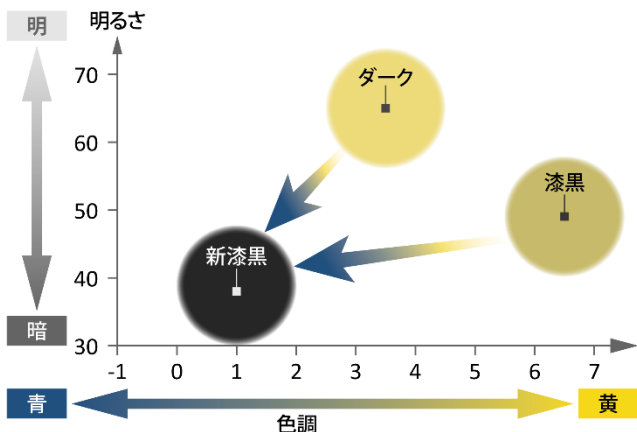
新漆黒めっきの開発にあたっては、当社の材料技術を駆使してめっき薬液を改良しました。2014年に開発した「漆黒めっき」※1に比べ、明度を約20%下げるとともに、従来の技術では表現できなかった濃い青味を持たせることで、より深い黒色を実現しています。

なお、本製品はマツダ株式会社より2021年12月に発売されたCX-5のフロント部に採用されています。

※1 特殊な材料の配合により、相反する「黒味」と「光沢感」を両立させためっき。



マツダ CX-5 のフロント部 (フロントグリル下部のめっき部分が新漆黒めっき)※2



※2 フロントグリルは他社製。



主なめっきバリエーション
[左からサテン・ニュートラル・ダーク・漆黒・新漆黒(開発品)]

お問い合わせ先：豊田合成(株) 経理部 森田・清水 Tel. 052-400-5131